

特67

特67

484

相生源氏松緑葉

分巻家由席幕あり

特67
484
相生源氏松緑葉

九
市
灯
夜
次
甲
濃
戸

大
誌
御
殿
の
場

彦
重
河
周
梨
奈
橋
寛
忠
氏
高
忠
正
忠
我
産

205011-000-2

特67-484

相生源氏松緑葉

〔出版事項不明〕

EDV-0002



特67

特67

484

布打雁

次甲次
華戸

正本抜書

のひあひげんとまろのみみぶりを

御三浦白松練葉

外巻糸番田席纂あり

大誌御殿の傷

彦重河唐
後三行義
猶三義
重三義
河三義
唐三義

如漢所羨 兼 尾上多喜美之流

サア松も羽波の幸は報へぬ

市子依の折ふ心は

愛ふ心は

と愛ふ心者

西宮まごかれぬ

市お波とまごたむる

えんとはなふ

ひれと折ひませると

常おあひあひのめくつて

ぬくはぬはぬくぬく



常おあひあひの末後ふ

唐糸の娘様 橋 坂東三津三

「おんいさよ」

又婦人急の南の

七本着後

ぬくぬく

ぬくぬく

ぬくぬく

せふ

ぬくぬく



尾上多喜美之流



世の身世の縁はあまの
終父のまを 風 摘 勇

業て娘を嫁にひき討面ま
今物めて前前の一姫始

いばりあなをていばり
いばりあなをていばり

感あるふ会あつたこれ千の松が涙
業最極もあつたあま業極あつたあま

いさぎ行氏 市川春景



いばりあなをていばり
いばりあなをていばり

相模小幡大老 市川 團 我 重

いばりあなをていばり

いばりあなをていばり

いばりあなをていばり

いばりあなをていばり

いばりあなをていばり

